

製品名: ING4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12606**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	ING4
別名	ING4; My036; Inhibitor of growth protein 4; p29ING4
遺伝子 ID	51147.0
SwissProt ID	Q9UNL4
免疫原	抗血清はヒト ING4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 107-156

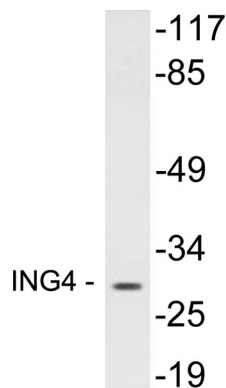
背景

この遺伝子は、クロマチンリモデリングに関与するタンパク質に共通するモチーフである PHD フィンガーを含む腫瘍抑制タンパク質をコードしています。このタンパク質は、ヒストンアセチルトランスフェラーゼ複合体の構成要素である TP53 および EP300/p300

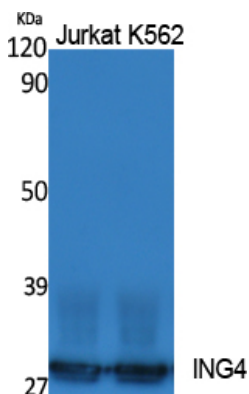
に結合できるため、TP53 依存性制御経路への関与が示唆されています。異なるタンパク質をコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: ヒストン H4 特異的アセチルトランスフェラーゼ活性、ヒストン H3 に対する活性低下、および生体内でのヒストン H4 アセチル化の大部分を担う HBO1 複合体の構成要素です。クロマチンアセチル化を介して DNA 複製に機能する可能性があります。細胞増殖を制御するシグナル伝達経路の転写出力を調節することにより、腫瘍の進行を阻害する可能性があります。RELA と複合した場合、RELA/NFKB3 標的遺伝子の転写抑制を介して脳腫瘍の血管新生を抑制できます。MYC などの活性化がん遺伝子によって引き起こされる接触阻害の消失を特異的に抑制する可能性がある。低酸素誘導因子 (HIF) プロリン水酸化酵素 2 (EGLN1) と相互作用することにより、HIF の活性を抑制する。類似性: ING ファミリーに属する。類似性: PHD 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。サブユニット: 少なくとも ING4 または ING5、MYTS2/HBO1、EAF6、および PHF15、PHF16、PHF17 のいずれか 1 つから構成される HBO1 複合体の構成要素。EP300、RELA、TP53 と相互作用する。これらの相互作用は間接的である可能性がある。EGLN1 と相互作用する。

研究分野

画像データ



ING4 抗体を使用した 293 細胞の溶解物のウエスタン プロット分析。



ING4 ポリクローナル抗体を使用した、Jurkat K562 細胞抽出物のウエスタン プロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。